

特集「地球環境問題と環境ビジネス」を企画して

特集担当編集委員 大矢 仁史、浅井 直親

21世紀は環境の世紀といわれ、様々なメディアを通して我々のもとに毎日のように環境関連のニュースが届けられている。環境問題として主なものを挙げると、温室効果ガスの放出などによる地球温暖化・海面上昇・凍土融解、工業排気や自動車の普及に伴う大気汚染・酸性雨、工業排水だけでなく生活排水も一因となっている水質汚染・土壌汚染、そして開発に伴う生物多様性の減退などがある。これらの諸問題は企業や自治体のみならず、地球に住まう人類全体で取り組む必要があり、地球環境問題として位置づけられている。また、世界サミットやCOP (Conference of the Parties) などで環境問題が議論されていることは周知の通りである。

このように地球環境問題は今後避けて通れない課題であり、粉体業界にとっても新しいビジネスチャンスが数多く存在している。そこで、「地球環境問題と環境ビジネス」を企画し、幅広い粉体関係者に情報発信をすることとした。

まず、**東京大学大学院の森口 祐一先生**には「地球温暖化問題の概要と低炭素社会に向けた課題」と題して、地球環境問題の中でもっとも注目されている地球温暖化問題についてそのメカニズムからその対策について解説していただいた。つぎに、**北九州市立大学の伊藤 洋先生**には「地圏における環境問題」と題して、土壌や水を対象とした環境問題を概説いただき、地球温暖化との関連についてもご紹介いただいた。さらに、**福岡女子大学の山田 真知子先生**には、「環境の時代21世紀への生態学的視点からの一考察」と題して、昨年10月に開催された名古屋生物多様性条約会議コップ10に関係した生物学的な環境問題と生態系が人類にもたらす効用をわかりやすく解説していただいた。

Geo3 REScUE Forumの**藤田 和男氏**のご投稿は、「石油資源の枯渇問題 ～その信憑性に迫る～」ということで、エネルギー問題の対象として石油についてピークオイルの考え方と世界の石油資源は最早減少期に入っているというショッキングな内容であった。**東北大学大学院の石田 秀輝先生**、**古川 柳蔵先生**には、バックキャスト視点からの環境問題と我々の暮らしを考える今までにはない興味あるお話しを「地下資源文明からの離陸 ～自然に学ぶあたらしいものづくりと暮らしのかたち (ネイチャー・テクノロジー)～」と題してご紹介いただいた。

また、**アジア低炭素化センターの飯塚 誠氏**には、「低炭素社会でのビジネスの新展開 ～北九州市アジア低炭素化センターの取り組み～」と題して、北九州市の環境に対する取り組みの歴史とともに昨年発足したアジア低炭素化センターで行われている環境ビジネスのご紹介をいただいた。**財関西環境管理技術センターの千葉 悦子氏**には、「ヨルダンの水環境」ということで、ヨルダンでの実際の水環境問題とともにその解決のための日本の支援活動についてご報告いただいた。最後に**環境テクノス(株)の鶴田 直氏**には、「環境ビジネスと中国展開」と題して拡大していく環境ビジネスの現状と中国を中心としたアジアへの実際のビジネス展開についてご紹介いただいた。

地球環境問題を正確に捕らえることは難しく、環境ビジネスを考える特集としては公的機関の方々からのご投稿が多くなった感がある。しかしながら、この企画が地球環境問題に様々な視点からの解説をいただけたことで、実業を行っておられる粉体分野の方々が少しでも環境問題により興味を持っていただくとともに、その問題解決に正面から取り組むことができるような新たな技術開発のヒントになることができれば幸いである。